

藤沢

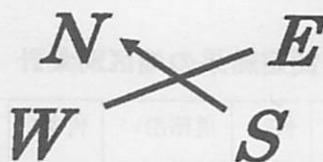
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2012年12月1日

第223号



- 主 11.11 脱原発 100 万人大占拠行動
な 藤沢の空気の汚染とぜん息 12.6 月の結果
記 放射能測定値

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

今年も温暖化防止月間に「ふじさわ環境フェア」

今年も年末が近付き、温暖化防止活動推進月間の12月、昨年同様に第17回目を迎える「ふじさわ環境フェア」が開催されます。昨年から「あついで！ 藤沢Eco2（エコエコ）祭り」とのタイトルも付き、より楽しめながら深く掘り下げるイベントを目指しております。

日程は12月15日土曜日10時から15時半まで（雨天決行）、会場は藤沢市民会館です。10時よりキッズダンスと市長とのじゃんけん大会のオープニングセレモニー、学習会として第2会議室にて10時より「映画・シェーナウの想い」、11時から小ホールにて「電影紙芝居エコロジーシアター・季節はずれのサンタクロース」。

市民団体・企業・大学・行政による環境活動の展示紹介を行う第1展示集会ホールでは13時より「ミニ環境クイズ王決定戦！」 同様に13時より第2会議室では「街のくらし・市民の選択」を講師に長谷川公一さんを迎えて、藤沢市放射能測定器運営協議会が開催します。第1会議室では「スタンプ押してオリジナル手ぬぐい作り（材料費300円）」という工作教室も13時から15時まで、自由参加で行われます（作業時間は30分ほど）

第2展示集会ホールと屋外にて展示はもちろん、体験や工作など、地産地消のたべもの、藤沢産の野菜や花の直売、東北の物産販売、クイズラリーにスタンプラリー（抽選会は12時15分と15時15分に）などなどお待ちしております。

前身のエコネット展から数えると20年以上続く、ふじさわ環境フェア。市民主体で行政や企業を巻き込めつつ、予算は少ないものの大きくなってきました。他自治体の同様なイベントに参加しても、ここまで市民が主体となっている環境フェアはありませんでした。

予算がないのは自分達の力不足かもしれませんが、各参加団体の力を文字通り結集して市民の皆様に環境に配慮する事の大切さ、一人ひとりが実際に効果的に出来る事を伝え、行動してもらうためにも、普及啓発の枠を越えていく事がこの環境フェアに求められている。それに応えられるように、残り少ない準備期間ですがさらに努力し、当日、皆様をお迎え致します。

(実行委員長 環境経済NPOパシフィックエコサービス代表
青木正美)



ヒヨドリ

藤沢の空気の汚染(NO₂)とぜん息

藤沢市 NO₂ 測定結果の地区別集計 (藤沢の空気を考える会)

2012.6 月の測定結果

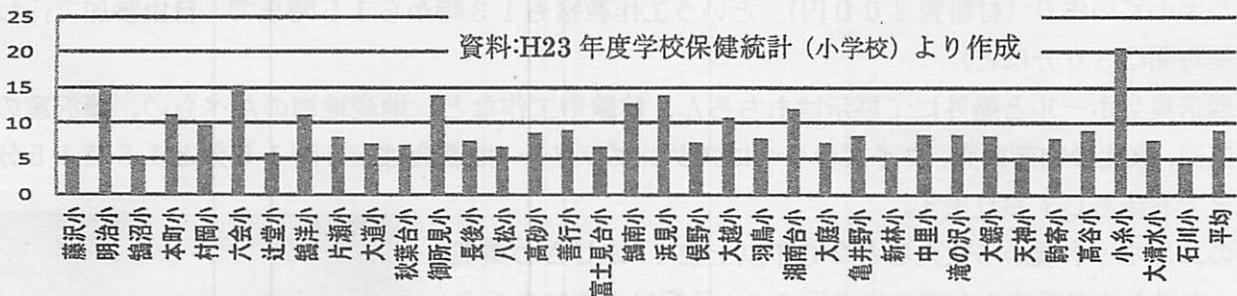
	件数	道路沿い ppm	件数	非道路 沿 ppm	件数	合 計 (平均)
片瀬地区	8	0.027	25	0.021	33	0.022
鵠沼地区	12	0.057	6	0.010	18	0.041
辻堂地区	10	0.034	0	—	10	0.034
村岡地区	4	0.041	11	0.018	15	0.024
藤沢地区	6	0.025	13	0.019	19	0.021
明治地区	17	0.031	11	0.022	28	0.028
善行地区	7	0.026	3	0.022	10	0.025
湘南大庭	17	0.041	10	0.020	27	0.033
六会地区	2	0.012	5	0.034	7	0.028
湘南台地区	11	0.051	5	0.014	16	0.040
遠藤地区	1	0.023	8	0.007	9	0.009
長後地区	1	0.031	0	—	1	0.031
御所見地区	8	0.045	9	0.048	17	0.046
全体	104	0.038	106	0.021	210	0.030

藤沢の空気を考える会でまとめた 6 月の藤沢市内 13 地区別二酸化窒素測定結果平均は 0.03ppm で、現在の環境基準 (0.04~0.06ppm 以下) をクリアしました。しかし、旧環境基準 (0.02ppm 以下) を超えていますので、ぜん息の減少はあまり期待できません。2011 年度のぜん息罹患率平均が 2 割を超える小学校があります。(青柳節子)

大庭隧道中央(大庭方面)	0.130ppm
西用田バス停	0.125
用田辻交差点	0.124
亀井野 9 8 9	0.117
鵠沼石上 1-10	0.117

ワースト 5

藤沢市立小学校児童ぜん息罹患率2011年度(%)



放射能測定値 (市民による測定)

ホリバの線量計により室内を測定

測定場所	測定日	高さ	測定値
かながわ女性センター	11月13日 晴れ	1 m 室内2階	0.048 μ Sv/h
かながわ女性センター	11月14日 晴れ	1 m 室内2階	0.056 μ Sv/h
デニーズ藤沢北口店	11月16日 晴れ	1 m 室内1階	0.041 μ Sv/h
市民活動推進センター	11月17日 晴れ	1 m 室内2階	0.043 μ Sv/h
藤沢市民の家	11月17日 晴れ	1 m 室内	0.052 μ Sv/h
藤沢市藤沢 民家	11月28日 雨	1 m 室内2階	0.066 μ Sv/h



海から世界を見る

11月4日に「海から世界を見る」というテーマの学習会が、「湘南のなぎさを守る藤沢市民の会」の主催で開催されました。

初めに岡部 久さん（神奈川県水産技術センター主任研究員・海洋学博士）が、「神奈川の海と魚」というテーマで、神奈川の海の特徴と漁業、そして魚類相の変化について発表されました。

神奈川県に属する海は東京湾と相模湾で、東京湾は浅く閉鎖的な内湾であり、河川の流入が多く富栄養の海であるという特徴を持ち、相模湾は深く開放的な環境で黒潮暖流の影響を受け、1517 種もの魚が捕れる豊かな魚類相を持つ海であるとの事。東京湾で捕獲される魚類は 737 種で、シャコ、コハダ（コノシロ）車エビ、タチウオ、アナゴなどが特徴的な魚であり、相模湾では、イワシ、ブリ、カマス、アジなどを定置網で捕っている他に、シラスが「湘南シラス」としてブランド化に成功しています。

魚類相の変化という点では、主に季節的に変化するものであり、長期的には来遊魚が爆発的に増える魚種が交代してトップになっているというお話でした。

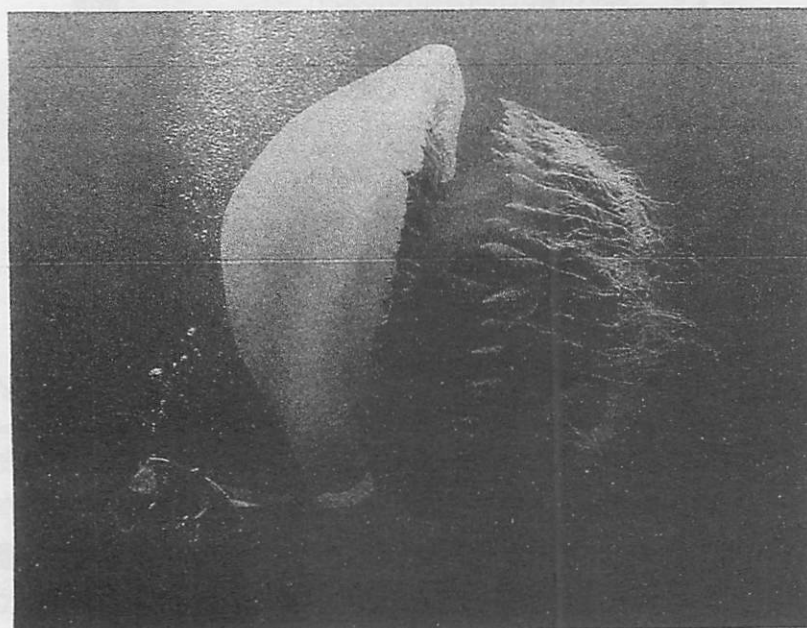
最も印象に残った事は、神奈川県海面の魚が 1700 種にも及び、これは日本産魚類約 4000 種の 4 割に当たるという事で、私たちにとって最も身近な海である相模湾が、大変豊かな海である事を改めてデータを通して知ることが出来た事でした。

続いて、30 年間日本や世界の海に潜り、目撃者として実感してきた海の変化を「海の中から地球が見える」というテーマで「NPO 法人パパラギ海と自然の教室」代表の武本匡弘が発表させて頂きました。

沖縄～北海道までの日本の海中や、グレートバリアリーフ、ニューカレドニア、ハワイ、マーシャル諸島、グアム島など世界有数のダイビングスポットで撮影した水中写真を見て頂きながら、地球上には素晴らしいサンゴ礁が広がり、色とりどりの魚たちが乱舞する海もちろんありますが、埋め立てや護岸工事、そして地球規模での環境の変化によるサンゴ礁の白化や磯やけなどにより、死に向かっている海の方が多くあるという現実があり、このような変化は自然に変化した訳でなく、往々にして人間の都合で変化させられてきたという事をつくづく感じているという事をお話させて頂きました。

自然の再生には人の考え方の変化や進歩、気付きが何よりも大切であり、沖縄本島沿岸のサンゴ礁のように、様々な開発行為によって痛めつけられ、ほぼ無くなってしまったサンゴ礁でも、漁業者とダイビング業者の協働、そしてダイバーによるサンゴの移植などで、少しずつ蘇ってきたという例もあります。

そして、豊かな海を守り育てていくためには、山、森、里、川、海の連環に基づいた考え方や協働の思想が大切だと感じます。と締めくくりました。



当日会場には、このテーマに興味を持たれた多くの方々が集まって下さり、質疑応答でも活発な意見が交わされた大変有意義な学習会でした。

(N, P, O パパラギ海と自然の教室山本洋子)

写真は、2009 年に相模湾に現れた「越前クラゲ」
(江ノ島沖 5 海里あたりで撮影。)

1 海里は 1852m です。)

朝日新聞の読者投稿写真の月間賞と神奈川県大賞を頂きました。

反原発 100 万人大占拠行動

私はもうすぐ 80 歳です。11 月 11 日は 50 人も参加した駅頭宣伝の後、反原発 100 万人集会大集会に連れて行って頂き、参加してきました。

夜、雨の中、長い行列の末に国会周辺の雰囲気を見聞しました。地の底から聞こえてくるような、時代の響きはまさに大衆の怒りの咆哮です。

困難な情勢を切り開く事ができるのは・・・
このうねりを皆さんに伝えます。(矢田健爾)



(スケッチ：矢田健爾)

〈毎週金曜日、各地から数万人の市民が集まり「原発反対」の声を上げる永田町・霞が関一帯。総理大臣官邸、国会議事堂、そして経済産業省をはじめとする官庁もい並び、まさに原子カムラの本拠地ともいえるこの場所で、11月11日、100万人規模の強大な「原発はいらない」の音が響いた。〉

ECONET INFORMATION

第17回 ふじさわ環境フェア

「あついで！ ふじさわEcoまつり 2012」

12月15日(土) 10:00-15:30

藤沢市民会館で 開催されます

展示ホール催し 展示 スタンプラリー ジャンケン大会
小ホール 電影紙芝居→「季節はずれのサンタクロース」
「世界中からのメッセージ」ほか

「福島原発事故・東日本大震災からみえてきた 街のくらし市民の選択」

講師 長谷川公一氏(東北大学院教授)

12月15日(土) 13:00-15:00

市民会館会議室

主催 藤沢市放射能測定器運営協議会
消費生活センター

第4回 総合ミュージアムをつくろう展

会期：2012年12月18日(火)～23日(日)

場所：藤沢市民ギャラリー第1展示室

主催：藤沢文化創造の丘をすすめる会

藤沢エコネットから

「真実はどこに？」

映画上映と福島の現状報告

1月26日(土) 10:00-12:00

藤沢市総合図書館視聴覚ホール



会費・購読料の納入お願い致します

ゆうちょ銀行(9900) 店番(029)

当座預金 0046501 フジサエコネット

(従来の振込方法も利用できます)

会員募集＝年会費・購読料→3000円

事務局会議 12月13日(木) 18:00～

市民活動推進センター

《編集後記》今年は過去9番目の暑さで、極端な異常気象による災害が多発したと世界気象機関がカタールで開催のCOP18で発表した。日本は来年からの京都議定書第2約束期間不参加、25%削減ほぼ不可能と世界で孤立している。(A)